

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 02 01	中期総合計画主要施策番号	2-04	担当課	部・課	林務部信州の木振興課	
事業名	林業大学校費				内 線	3240	
					E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S54 ~	根拠法令等	長野県林業大学校条例				
実施方法	直接実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	林業の専門的知識・技術を身につけ、農山村地域にあって指導的な役割を果たす地域林業の担い手を養成し、林業、木材産業の振興及び本県の森林づくりの推進を図る。				
	対 象	森林・林業に関する専門的な知識・技術の修得を希望する高校卒業程度の学生				
	目指すべき姿	林業の専門的知識・技術を身につけ、農山村地域にあって指導的な役割を果たす林業技術者、林業後継者及び機械化林業の現場で即戦力となる有能な人材を養成する。				
	事業内容	高校卒業程度の学生を対象として、一般教育科目(30単位)および専門科目(95.5単位)のカリキュラムにより専門的な知識・技術を体系的に修得させる。 < 総定員40人(1学年の入学定員20人)、就業年限2年、全寮制 >				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・報酬:3,976千円 ・賃金:2,435千円 ・旅費:2,770千円 ・需用費:5,053千円 ・委託料:4,400千円 ・使用料:7,880千円 他
	最終予算額 (A)		千円	56,082	29,347	30,808	
	決 算 額 (B)		千円	54,325	28,622		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	26,363	24,185	25,984	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	8.00	8.00	8.00	
	概算人件費 (C)		千円	66,536	66,064	66,064	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	120,861	94,686	96,872		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 卒業生の就職状況 ・民間企業等:13人(うち林業関係11人) ・進学:4人(うち林業関係4人) ・公務員:1人(うち林業関係1人) (効果指標算出式) 概算事業費 / 在校生数
	在校生数(活)	人	36	38	40	
	(志願者数)入学者数(活)	人	(34)18	(36)20	(29)20	
	林業関係への就職率(成)	%	89	67	75	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 学生一人当たり事業費	千円 / 人	3,357	2,492	2,422	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・県内の、森林・林業の現場を担う人材を育成する。 ・入学者定員を充足する。			・卒業生18人のうち、12人が林業関連の仕事に就き、4人が森林関係の大学等へ進学するなど知識と技術は高く評価されている。また、就職者の14人うち10人(71%)が県内で就職している。 ・入学者定員(20人)を満たした。			b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・公的な森林・林業教育に対するニーズは依然として確実に存在する。 ・林業事業体等での研修や、他県の林業関連学校との交流をカリキュラムに取り入れるなど、より有効性、効率性を高める取組を行っている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・森林・林業の担い手を確保するため、今後とも、林業大学校での教育を行い、森林・林業の広範な知識を有する林業技術者・林業後継者となる有能な人材を育成することが必要である。 ・先進的技術である高性能林業機械の実習などの実技実習を強化するなど、林業大学校生のスキルアップや他県の林業関連学校との交流促進に継続して取り組む必要がある。				
	特記事項					